

# 派生開発カンファレンス2013 ワークショップ テーマ1

T3研究会(ポスター発表)  
連動企画




## 「XDDP入門」の“難所”を考える ～上手にXDDPを導入するための“足掛かり”考える～

冊子「XDDP はじめの一步」で  
おなじみ(?)の若手Eng.  
山田くん



派生開発推進協議会 第3研究会  
Imatec 酒井郁子

# ワークショップ中のお願い

- 随時 “質問” OK 
  - 「意見交換」が大事
  - いつでもコメントを、スタンバイするような気持ちで
- “否定” は STOP 
  - 「ん？」と思う意見があったら…「こうならどう？」というベターな意見を添えて言葉にしてください
- “タメクチ” OK 
  - この時間は、上下関係・利害関係は忘れましょう
  - 丁寧語など言葉づかいに迷うより、まず声にしましょう

## 本日のアジェンダ

- GOAL
  - 現場で上手にXDDPを導入するための“足掛かり”を見つける
- 途中STEP
  1. “難所”をピックアップする
  2. “難所”を分析し、問題の本質を露わにする
  3. “難所”の“足掛かり（乗り越え策）”を考える

## STEP1：“難所”をピックアップする

- 付箋紙に“難所”を書き出してください
  - 付箋紙 1枚 に “難所” は一つ
  - ポジションペーパーにあげた “難所” 以外もOK！

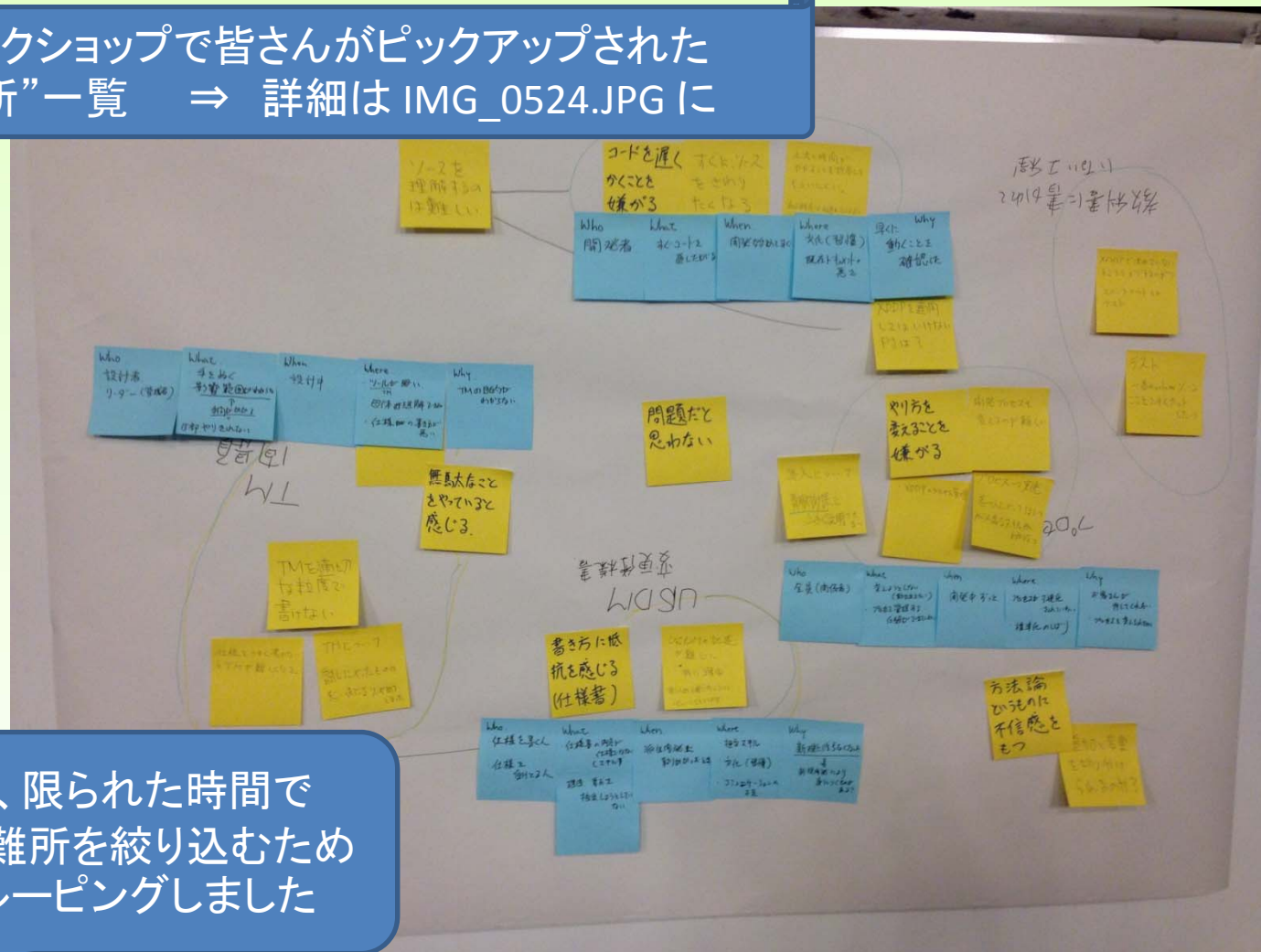
シンキング・タイム 5 分

気楽に案を出して  
行きましょう！



# WS記録：“難所”リスト

ワークショップで皆さんがピックアップされた  
“難所”一覧 ⇒ 詳細は IMG\_0524.JPG に



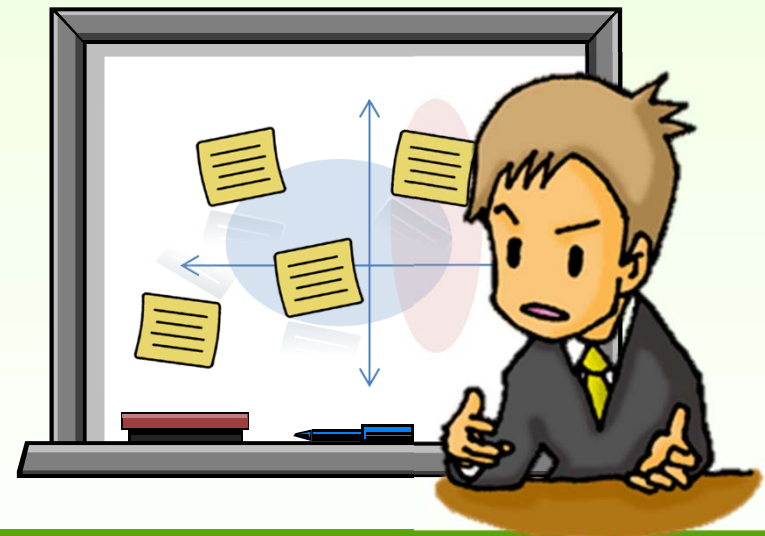
今回は、限られた時間で  
分析する難所を絞り込むため  
に、グルーピングしました

## STEP 2：“難所”を分析し、 問題の本質を露わにする

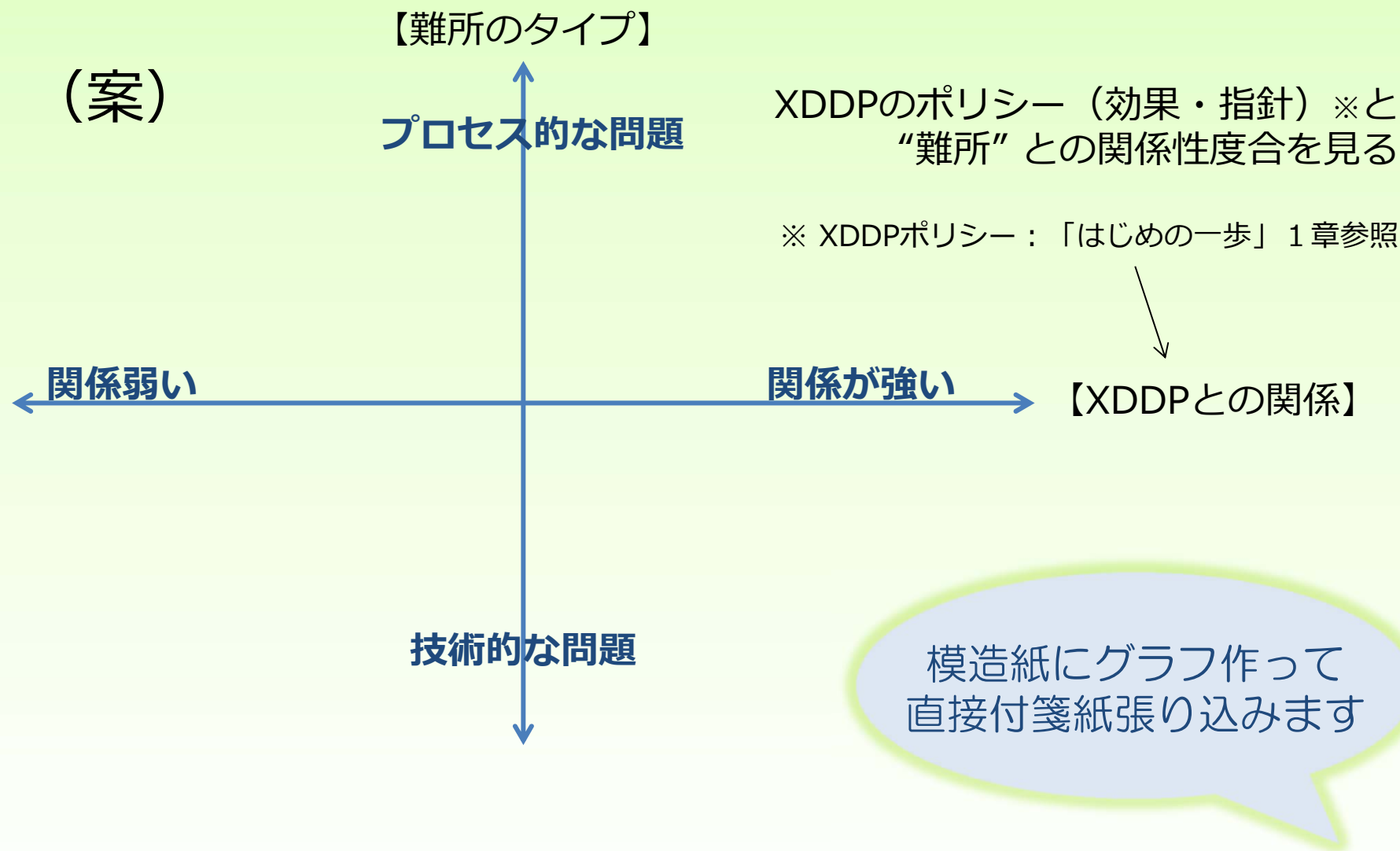
- “難所”を分析します
  - 5Wを考えましょう
    - Who「誰が」それにつまづくの？ 「誰が」それで困るの？
    - What「何を」していたの？
    - When「どの」プロセスで起こるの？ 初端、設計中、テスト時…
    - Where「どこ」に問題があるの？ 母体ソフト、プロセス管理…
    - Why「なぜ」そうしたの？



- “難所”を分類しましょう
  - 分類軸を決めます



# STEP2 つづき



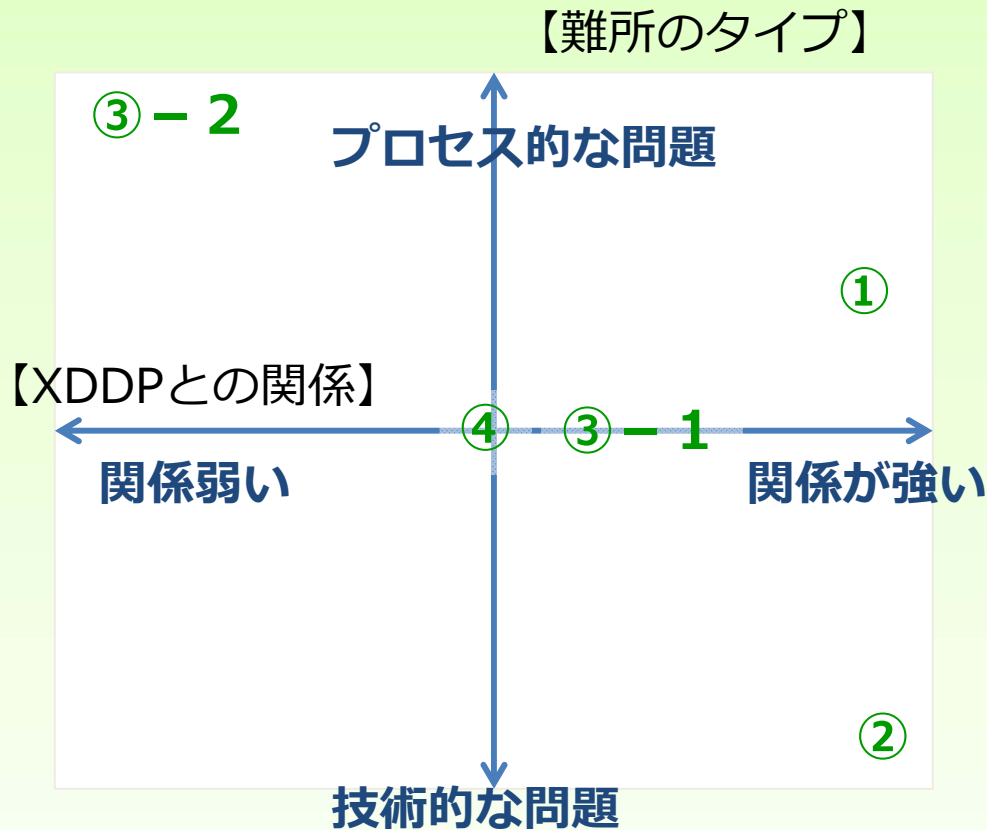
## STEP2 補足

- “難所”を4象限に分類した理由
  - “難所”の特徴を理解しなければ、効果的対策は得られない
  - XDDPで解決できる問題／それ以前の問題がある
    - **関係が強い**：その“難所”は、XDDPが狙っている効果で解決するものである
    - **関係が弱い**：その“難所”は、XDDPが狙っているところとは異なるところで起こっている問題である

難所にXDDPの3点セットにかかわるからといって、その問題がXDDPに関係が強いと判断しないこと。躓きの本質に注意！
- 事象から解決策をすぐに考えない
  - まず、その問題は何が不足して起こっているかをとらえる
  - プロセス改善で対処する問題 / 技術の補強が必要な問題  
ここを見誤ると、空回りに…



# WS記録：“難所”の分析結果



## 分析した、“難所”ストーリー

- ① 習慣やドキュメントの悪さにより、開発を初めて早めに動くことを確認したいので、コードをすぐ直したが、開発者が困っている
- ② 設計中にTMの目的が解らず、TMの表（縦横項目）づくりが難しいので、TM作成中に手を抜いたり、全部書ききらずに終わってしまい、設計者もリーダーも困っている
- ③ - 1 XDDPで実施するプロセスが可視化できない（スキル不足、手法不理解）ので、プロセス管理する仕組みで困っている
- ③ - 2 XDDPを導入しようとしているが、標準などのライフサイクルに合わせられず現行のプロセスを変えない
- ④ 派生開発に取りかかってすぐ、スキル不足、コミュニケーション不足や習慣的な問題により、変更仕様書が仕様になっていなかったり、理由・要求を抽出しておらず、仕様書を書く人も受け取る人も困っている

全員で、5点の難所ストーリーを作り、分析グラフにマッピング

## STEP 3 : “難所”の“足掛かり”を考える

- “難所” 2, 3点を選びましょう
  - 分類したもののうち、特徴的なもの
  - 最初の躓き
  - 多くの人が共感できそうなもの
- その“難所”で躓かないように、“策”の提案



ブレイントーミングで！  
どんどん、意見出してください。

# まとめ

- 本日のディスカッション結果

難 所	対 策（足掛かり）

今回のワークショップでは  
時間切れでSTEP2まで実施  
続きは持ち帰って、ぜひやってみてください

# お疲れ様でした！

本日のワークショップ結果を活かして、  
XDDPでソフトの開発を  
上手く進めていきましょう。

